



# 資料編

## アンケート結果及び策定の経過

---

第1章 アンケート調査結果（抜粋）

第2章 新水道ビジョン策定の経過

# 第1章 アンケート調査結果（抜粋）

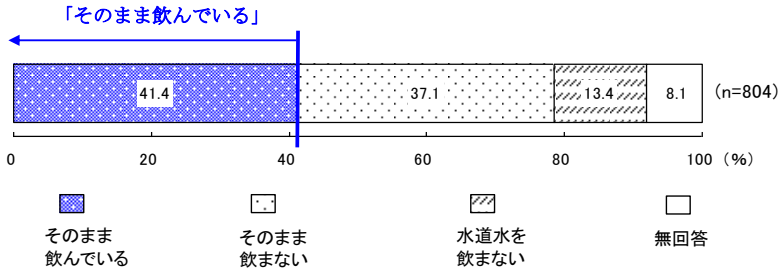
（注）各設問の回答割合の合計は、端数処理または複数回答の関係上、100%を上下する場合があります。

## 1 水道水の利用について

### 1-2 水道水をそのまま飲料の有無

Q. あなたは、水道水を飲料水として、そのまま飲んでいますか。

➡ 「そのまま飲んでいる」人は4割強

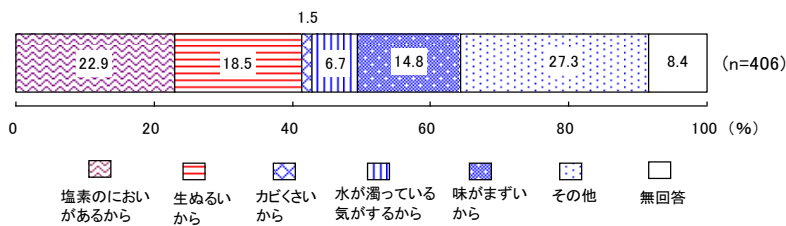


「飲んでいる (41.4%)」が最も高くなっています。『飲まない』(「そのまま飲まない (37.1%)」+「水道水を飲まない (13.4%)」)は概ね5割でした。

【『飲まない』人に対して】

Q. その理由をお聞かせください。

➡ 「塩素のにおいがあるから」は2割強、「生ぬるいから」は2割弱



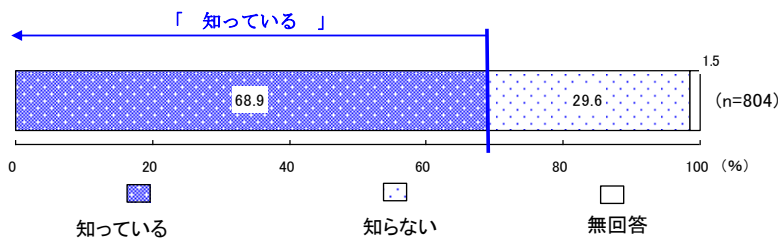
『飲まない』理由として、「塩素 (カルキ) のにおいがあるから (22.9%)」、「生ぬるいから (18.5%)」の順となっています。

## 2 水道サービスについて

### 2-1 水道事業の運営についての認知度（再掲）

Q. 水道事業は、北名古屋水道企業団（北名古屋市・豊山町）で運営されていることを知っていますか。

➡ 「知っている」人は7割弱

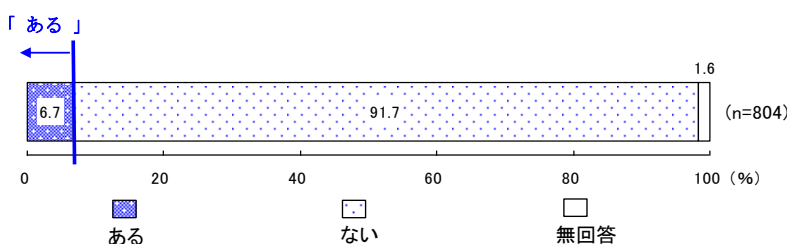


「知っている」と答えた人は68.9%で、「知らない」は29.6%でした。約7割の人が知っていました。

### 2-2 水道企業団のホームページ閲覧の有無

Q. 北名古屋水道企業団のホームページを見たことがありますか。

➡ 「ない」人は9割強（見たことがある人は1割を下回る）

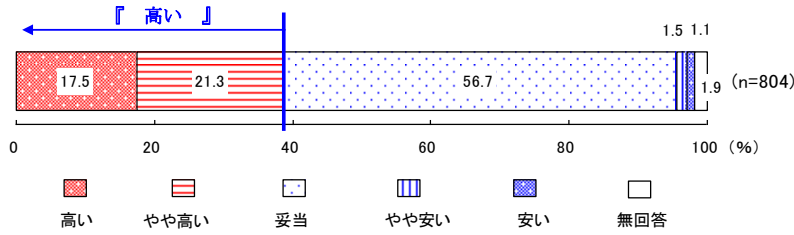


「ある」と答えた人は6.7%で、「ない」は91.7%でした。9割を超える人が見たことがありませんでした。

2-3 水道料金の評価

Q. 現在の水道料金についてどのように思いますか。（再掲）

⇒「妥当」と考えている人は6割弱、『高い』は4割弱



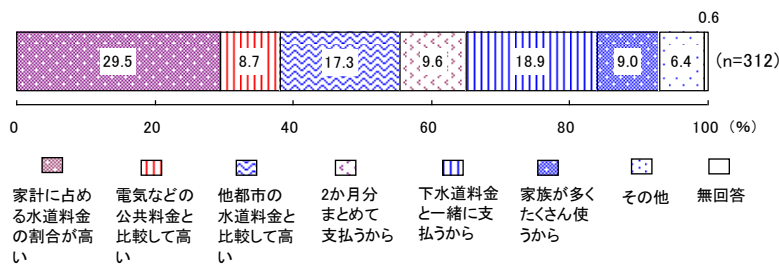
「妥当」と答えた人は56.7%で、『高い』（「やや高い（21.3%）」+「高い（17.5%）」）は38.8%でした。

『安い』（「やや安い（1.5%）」+「安い（1.1%）」）は5%にも満たない結果でした。

【『高い』と回答した人に対して】

Q. その理由をお聞かせください。

⇒「家計に占める水道料金の割合が高い」は概ね3割

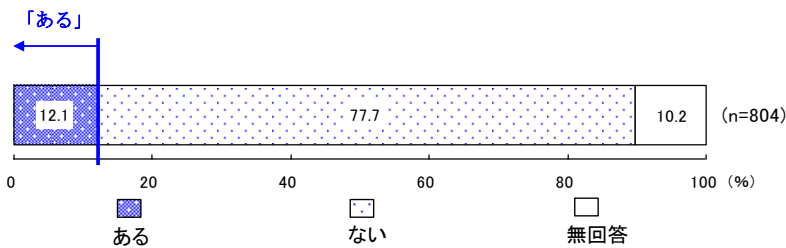


「家計に占める水道料金の割合が高い」は29.5%で、次いで「下水道と一緒に支払うから（18.9%）」、「他都市と比較して高い（17.3%）」の順となっています。

2-4 水道に関する不具合の有無

Q. 水道を利用されている中で、不具合などがありましたか。

⇒不具合が「ある」と答えた人が1割強



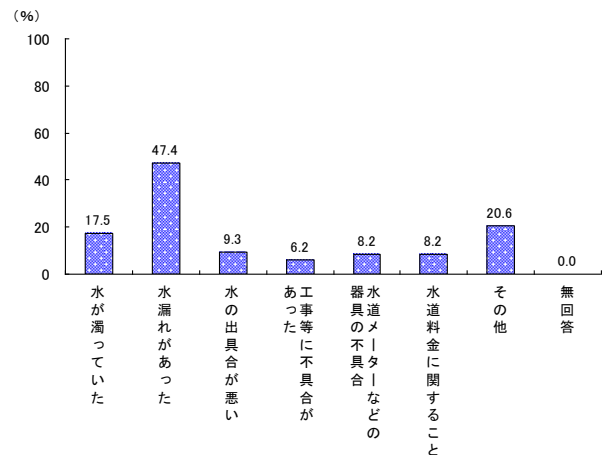
不具合が「ある」と答えた人は12.1%で、不具合が「ない」は77.7%でした。

【不具合が「ある」と回答した人に対して】

Q. どのような不具合がありましたか。

⇒「水漏れがあった」が5割弱

「水漏れがあった」と答えた人が47.4%で最も高く、次いで「その他（20.6%）」、「水が濁っていた（17.5%）」の順となっています。



第1章 アンケート調査結果（抜粋）

2-5 今後望む情報提供の手段

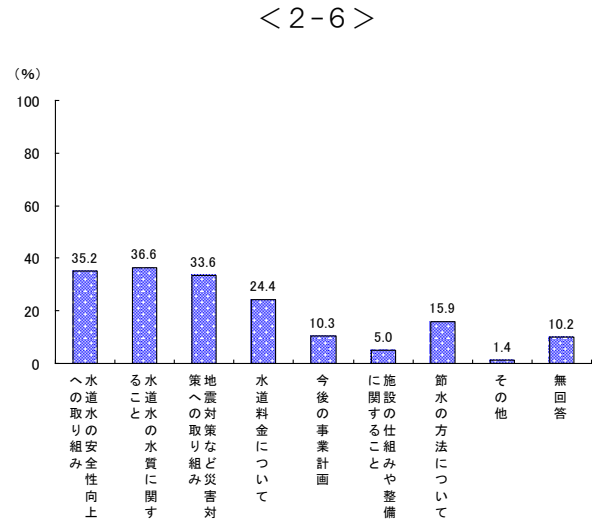
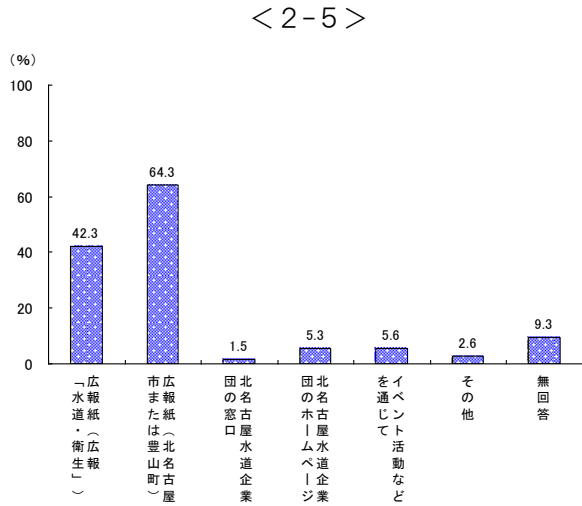
Q. 水道に関する情報を、どのような方法で知らせてほしいですか。

➡水道に関する情報は、市または町の「広報紙」が6割強

2-6 今後知りたい情報

Q. 水道に関するお知らせで、どのようなことが知りたいですか。

➡「水道水の水質」、「水道水の安全性向上」、「災害対策の取り組み」がそれぞれ3割を超える

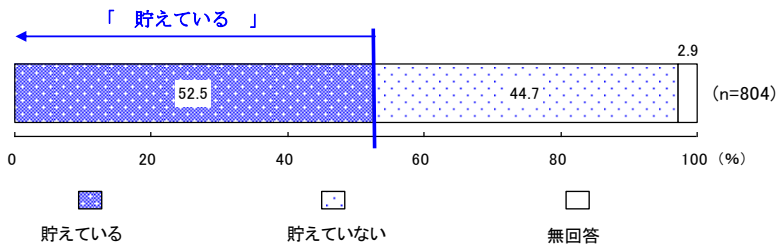


3 災害対策について

3-1 非常用飲料水の貯えの有無

Q. 地震等の災害時に備えて、ご家庭では、非常用飲料水を貯えていますか。

➡貯えている家庭は5割強

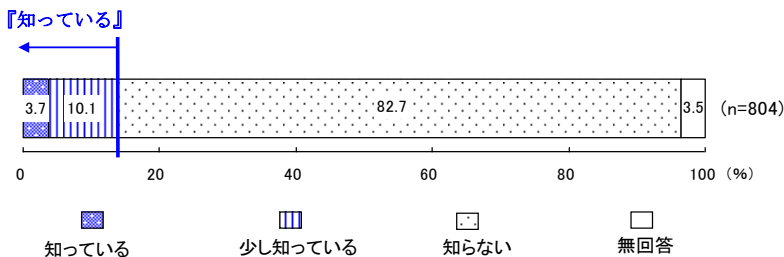


「貯えている」と答えた人は52.5%でした。4割強の家庭では、非常用飲料水は貯えられていません。

3-2 災害時における給水拠点（場所）の認知度

Q. 地震等の災害時における給水拠点の場所を知っていますか。

➡『知っている』人は1割強に留まる

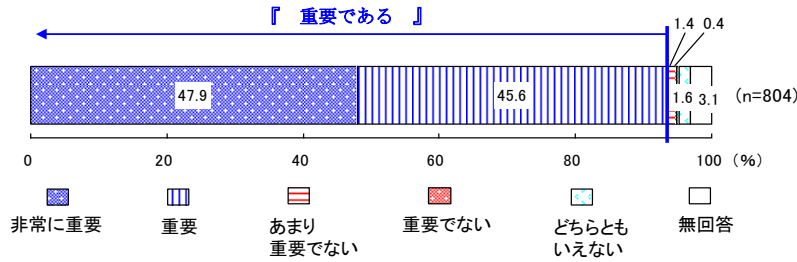


『知っている』（「知っている（3.7%）」+「少し知っている（詳細な場所等まではわからない）（10.1%）」）は13.8%でした。「知らない」は82.7%で、約8割の人が認知していませんでした。

### 3-3 災害対策に対する重要度

Q. 今後、水道事業で地震等の災害対策を推進していくことは重要だとお考えですか。

⇒ 『重要である』と考えている人は9割を超える



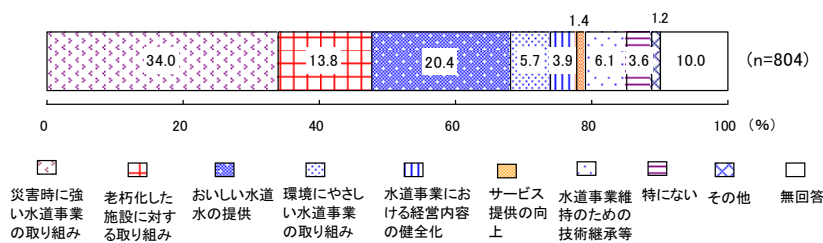
『重要である』（「非常に重要（47.9%）」＋「重要（45.6%）」）が9割を超えています。

## 4 将来の水道事業について

### 4-1 優先的に取り組むべき課題

Q. これからの水道事業について、どの課題から優先的に取りかかるべきだとお考えですか。

⇒ 「災害時に強い水道事業の取り組み」が3割強、「おいしい水道水の提供」が2割

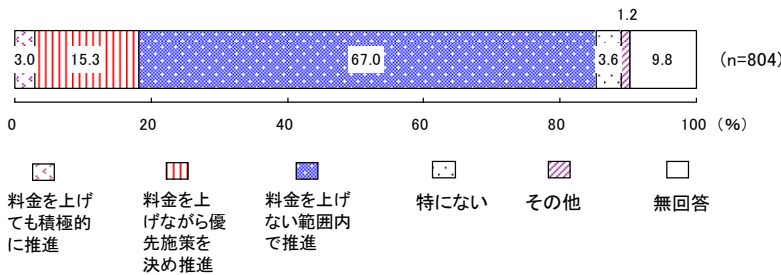


「災害時に強い水道事業の取り組み（34.0%）」が最も高く、次いで「おいしい水道水の提供（20.4%）」、「老朽化した施設に対する取り組み（13.8%）」の順となっています。

### 4-2 将来の水道事業計画推進に向けての考え方

Q. 今後、水道事業について、どのように進めればよいとお考えですか。

⇒ 「料金を上げない範囲内で推進」が7割弱

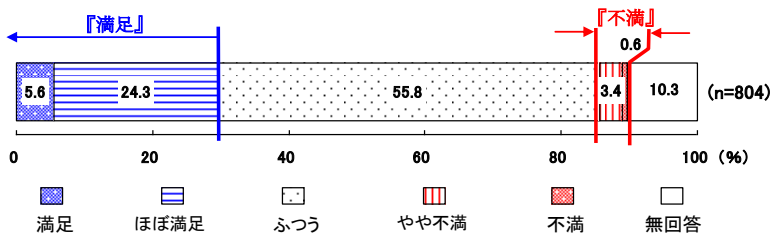


「料金を上げない範囲内で推進《料金を上げないで、出来ることから順次すすめていく》（67.0%）」が最も高く、次いで「料金を上げながら優先施策を決め推進《安全性を重視し、優先施策を決め、料金を上げながら進めていく》（15.3%）」となっています。

## 5 現在の水道事業に対する評価について

Q. 北名古屋水道企業団の水道事業について、どのように思いますか。（再掲）

⇒ 「ふつう」が6割弱、『満足』は概ね3割



「ふつう」は55.8%で最も高くなっています。『満足』（「満足（5.6%）」＋「ほぼ満足（24.3%）」）は概ね3割で、『不満』（「やや不満（3.4%）」＋「不満（0.6%）」）は1割を大幅に下回っています。

## 第2章 新水道ビジョン策定の経過

本ビジョンの策定にあたっては、企業団内部において『水道事業基本計画及び新水道ビジョン』策定委員会（職員16名（含事務局）で構成）と、調査委員会A（施設・管路）および調査委員会B（業務・OA）を設置し、平成27年8月から下表に示す日程で、水道事業が抱えるさまざまな課題や今後の施策の方向性などについて、検討を進めました。

表 6-1 新水道ビジョン策定の経過

		開催日	協議内容
策定委員会	第1回	平成27年 8月 5日	委員会開催スケジュールの確認 検討課題の選定 調査委員会への指示
	第2回	平成27年12月25日	調査委員会報告の確認 ビジョンの表現様式の確認
	第3回	平成28年 1月13日	調査委員会報告の検証
	第4回	平成28年 3月 7日	「新水道ビジョン2016」の内容確認
	第5回	平成28年 3月 8日	
調査委員会A （施設管路）	第1回	平成27年 8月17日	水道施設・管路に関する課題の整理と、 今後の施策についての検討
	第2回	平成27年 8月24日	
	第3回	平成27年 9月 9日	
	第4回	平成27年 9月15日	
	第5回	平成27年 9月25日	
	第6回	平成27年10月 5日	
	第7回	平成27年10月13日	
	第8回	平成27年10月20日	
	第9回	平成27年10月27日	
	第10回	平成27年12月17日	
調査委員会B （業務OA）	第1回	平成27年 8月17日	業務・OAに関する課題の整理と、今後 の施策についての検討
	第2回	平成27年 8月28日	
	第3回	平成27年 9月 1日	
	第4回	平成27年 9月 9日	
	第5回	平成27年 9月11日	
	第6回	平成27年 9月25日	
	第7回	平成27年 9月29日	
	第8回	平成27年10月 5日	
	第9回	平成27年10月 9日	
	第10回	平成27年10月13日	
	第11回	平成27年10月16日	
	第12回	平成27年10月19日	
	第13回	平成27年10月27日	
	第14回	平成27年10月30日	
	第15回	平成27年12月17日	